

授業科目 臨床栄養学

【担当教員名】 小林 一美	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

1. 栄養は人間が健康的に生きるために必要不可欠であるだけでなく、病気の予防・治療においても特に重要である。
看護師として臨床栄養学の知識を習得することの意義は大きい。
2. 臨床栄養学は基礎的な入門と位置づけられる。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 疾病予防及び治療における臨床栄養学(食生化学)知識の習得
2. 臨床検査結果と臨床栄養の関連について理解する。
3. 生活習慣病を中心に疾病別食事療法の概要を理解する。
4. チーム医療としてのクリティカルパスや、栄養アセスメントなどへの栄養的アプローチを理解する。
5. 栄養知識を高め、自己の栄養管理ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	臨床栄養学総論 栄養学の基礎、栄養アセスメント		講義、VTR
2	栄養と疾病 消化器疾患 消化吸収・胃腸疾患・下痢、便秘		講義、VTR
3			講義、VTR
4	内分泌・代謝疾患 糖尿病、糖尿病合併症		講義、VTR
5			講義、VTR
6	循環器疾患 高血圧、心疾患・高脂血症・(メタリックシンドローム)		講義、VTR
7	肝臓、胆嚢、膵臓、妊娠中毒症、		講義、VTR

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	エッセンシャル臨床栄養学	佐藤和人他	医歯薬出版	最新版 3200
	新食品成分表 FOODS		一橋出版	最新版 760
参考書				
その他の資料	補助資料 適宜プリント			

【評価方法】 レポート・試験・出席など、総合的評価	【履修上の留意点】 教科書だけでなく 幅広く栄養についての文献に興味を持って読みましょう。
------------------------------	--